

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
中区花いっぱい魅力創造まちづくり事業		中区役所 企画総務課			
事業目的	事業内容	活動指標	R1	R2	R3
地域の多様な団体や人の連携により、美しい花を育て維持管理することで、中区の各地域に花いっぱいのうるおいと安らぎのある環境を創り出すとともに、地域の活性と交流を生み出すことをめざす。	地域や公園、学校、駅などの地域の公共的な場所への花飾り用として、市民ボランティアグループ「まちづくり咲(サ)ークル花輪(かりん)」が、中区役所のほ場で、種まき・水まき・株分けなどの育苗の日常管理を行い、育てた苗を地域等に配付し花いっぱいの環境を作る。	新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じた花苗の育苗と地域への配付	5,054株 36箇所	新型コロナウイルス感染症の影響で実施せず	607株 13箇所
①妥当性		②協働の視点		③インパクト	
◎ 中区の公共的な場所を花いっぱいにするだけで、うるおいと安らぎのある空間を創り出すだけでなく、その空間を通じて区民間・組織団体間の交流が生まれ、まちの活性化が見込めるため、区が事業を実施する妥当性が高い。	○ 区民のボランティアを募集して結成されたグループを主体として、堺市公園協会や事務局と連携しながら活動の企画や運営を行い、公事業を実施している。	○ ボランティアグループと地域の協力を得て花を地域に広げており、花植え箇所には本事業で植えていることを示す札を立て、区外から訪れる方に、区が魅力ある空間を創り出すことに取り組んでいることをPRしている。	◎ 種から花を育てることで花の生育状況に応じた活動を行うことができる事業については、地域で同種の事業はされていない。		
⑤自立発展性		総合評価			
△ ボランティアグループの運営、活動については、メンバーの高齢化等により一部事務局で担っている部分がある。将来的にはメンバーを増加させ、できる部分はメンバーに運営を任せていく必要がある。	○ 春秋の年2回の花苗の育成と地域への配付については、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で全く実施できなかったが、本年度は感染状況に応じた可能な範囲での実施方法を検討した。 結果、春については中止となったが、秋については作業時間・人数を少なくし、地域への配付の際もポットではなくプランターで配付することで、できるだけ人と人との接触を減らすなど感染症拡大対策をしたうえで地域への配付を行い、配付株数は例年より減少したものの、地域の方に喜んでもらうことができた。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	当該事業では花輪メンバーが種から育てた花苗を中区のすべての校区自治会だけでなく、同校区内の複数の団体や小学校、老人ホーム等へ配付している。今年度、新型コロナウイルス感染症の影響で配付数が少なくなった際に、地域からもっと数があったほうが通りかかる人にも目を留めてもらえるという声があり、また令和3年度第2回堺市中区政策会議において、身近な生活環境に関する意見を聴取した際にも、花輪の活動をもっと活発にするのが大切であるとのご意見もあり、区民ニーズに沿った事業となっている。今後は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、平時には配付株数5,000株以上の安定化を目標とし、併せて花輪メンバーの新規加入を目指す。また、花の上手な育て方などの講演を行う「花とみどりの講演会」も隔年で実施して行きたい。				